

専修大学は、  
挑戦する意欲を持った  
すべての学生を応援します。

専修大学は、21世紀ビジョンとして

「社会知性 (Socio-Intelligence) の開発」を掲げています。

社会知性とは、「専門的な知識・技術とそれに基づく思考方法を核としながらも、

深い人間理解と倫理観を持ち、地球的視野から独創的な発想により

主体的に社会の諸課題の解決に取り組んでいける能力」です。



# FIND YOUR DREAM!

自分の実力で、人生を切りひらく。  
スキルが可能にする未来がある。



主催/専修大学エクステンションセンター 提携/大原学園

## INDEX

- 01 目次・学長メッセージ
- 02 講師からのメッセージ
- 03 公認会計士の「中身」を知ろう!
- 04 会計士講座について
- 05 会計士入門講座(会計士コース・簿記コース)
- 07 会計士入門講座(選抜個別コース)
- 08 会計士上級講座/会計士特別プログラム
- 09 合格者座談会
- 10 合格者からのメッセージ

## Message from the President 学長メッセージ



専修大学長  
馬場 杉夫

### 自信と誇りとチャレンジ精神を!

本学は、明治維新後、アメリカのハーバード大学、エール大学、コロンビア大学、ラトガース大学に留学した4人の若き創立者たちによって、明治13年に創立されました。日本初の経済科、私学初の

法律科を置く私立専門学校であり、五大法律学校としての歴史を有しています。そして、創立以来今日まで、高等教育機関としての役割を果たしてきました。専門教育により近代日本の人的基盤を整備しようとした創立者たちの熱き思いは、今日では「社会知性の開発」という本学の21世紀ビジョンの中に継承されています。新入生の諸君にあっては、本学が私学教育の先駆けとして重要な役割を果たしてきた伝統校であることを認識し、自信と誇りをもって大学生活に精進してもらいたいと思います。大学は自己の可能性を追求する場です。本学のエクステンションセンターでは、平成13年度から「会計士講座」を開講

し、多くの合格者を輩出するとともに、今も学部学科を問わず沢山の受講生が目的意識をもって学んでいます。公認会計士を目指す学生諸君は、この講座を利用することによって、経済的にも時間的にも有意義な学生生活を送ることができると思います。本学の創立者たちの熱き思いに誇りをもち、何事にもチャレンジ精神をもって取り組み、自己変革を遂げてくださることを期待しています。必ずや、意志あるところに道は拓かれます。専修大学は学生を全力で応援します。

※本誌は2026年度入学生向けの講座実施体制を掲載しているため、2027年度以降の入学生に対しては、講座の内容を変更する可能性があります。  
※メッセージを掲載している受講生、合格者の学年は2025年度のものであります。

## Messages from Lecturers 講師からのメッセージ



公認会計士試験  
合格のための  
最適な受験環境を  
提供しています

渋谷 基博先生

### 総合プロデューサー

一人ひとりと真剣に向き合う受験指導の経験と長年にわたる公認会計士試験の傾向分析を基に、多くの学生を合格に導くメソッドを提供する。

専修大学への合格、誠におめでとうございます。期待と不安が入り混じった、そんな今の気持ちを抱えている方も多いのではないのでしょうか。新しい学びの環境に立ち、これからの4年間で何を身につけ、どのような未来を描いていくのか。その第一歩を踏み出した皆さんを、私たちは心から応援しています。

さて、近年社会は大きな転換点を迎えています。物価上昇や円安の長期化により、企業の経営判断はこれまで以上に厳しさを増しています。また、AIが業務を変革する中で、最終的な判断を下す「人間ならではの専門性」が改めて注目されています。こうした状況下で、企業は「数字を正しく読み解き、未来を見通せる人材」を求めています。まさに今、会計の専門家である公認会計士の価値が、再評価されているのです。財務諸表を理解し、企業の健全性と成長性を見極める力は、どの業界に進むにしても揺るがない強みになります。変化の激しい時代であっても、自身のキャリアを主体的に築ける資格として、公認会計士は確かな選択肢となるでしょう。大学生活の4年間は、自由で貴重な時間であると同時に、「将来の自分をつくるための投資期間」でもあります。サークル、アルバイト、友人との出会いな

ど数えきれない経験ができる一方で、何に時間を費やすかが、将来の可能性を大きく左右します。もし、少しでも会計やビジネスに興味があるなら、ぜひ公認会計士の学習に挑戦してみてください。体系的な知識を身につけることは、皆さん自身の「個の力」を高めることに直結します。「数字を武器に未来を切り拓ける人材」は、これからより強く求められていくはずです。私たちは、皆さんが公認会計士試験に挑戦し、合格という大きな成果をつかむために、最高の学習環境とサポートを提供します。この大学生活のスタートラインで、大きな一歩を踏み出してみませんか。一緒に未来への道を切り拓いていきましょう。



目の前にある  
チャンスを  
掴みましょう!

土屋 雄嗣先生

### 入門講座 会計士コース・簿記コース(簿記初学者対象)担当

会計を学ぶ上で簿記(帳簿記入の略)の知識は不可欠です。簿記初学者の方からは「数学が苦手なので…」「普通高校出身者は公認会計士試験に合格できないですよね?」とご相談・ご質問を受けます。いえ、いえ。ご安心ください。講座受講生の9割以上は簿記未経験者ですが、簿記検定試験の全国合格率を毎回大幅に上回る合格実績のある講座です。また、公認会計士試験の合格者は簿記

の経験値に関係なく色々な学部、学科から輩出されています。さらに、民間企業に就職する場合はどの業種でも会計スキルは活用可能です。少しでも会計に興味がある方は、受講をお勧めいたします。簿記検定は近年範囲が改訂され難易度も上がっていることから、効率的に合格を目指すには「科目の性質・出題傾向」なども考えた取り組みが必要です。この講座では、会計上位級受験のために「資格試験での姿勢・戦い方」について簿記3、2級受験を通じてマスターします。さらに「どのような思考が必要なのか」「何をすればよいのかを考え行動に移す」等を身につけることで2年目以降の公認会計士の勉強へ繋げていきます。公認会計士の資格は社会的信用度も高いことから、皆さんの将来の仕事の幅を格段に広げてくれます。さあ、目の前にあるチャンスを逃さないでください。一緒に合格へ向けて頑張りましょう。



大学2年次での  
試験突破も  
目指せます

永井 一樹先生

### 入門講座 選抜個別コース(簿記学習経験者対象)担当

選抜個別コースでは、高校までに簿記2級以上の学習経験のある方を対象に公認会計士を目指す方にとって最適なカリキュラムをご用意しております。簿記経験者のアドバンテージを最大限に活かし、1年次の11月には日商簿記検定1級に挑戦していただきます。難易度は高いですが、この段階で挑戦することで着実なレベルアップにつながり、専修大学在学中の公認会計士試験合格を確実にしていきます。

また、高校までに既に日商簿記1級に合格されている方を対象とした特別なカリキュラムもご用意しております。具体的には、大学1年次の12月に公認会計士試験の短答式試験を受験・合格、大学2年次で論文式試験の合格を目指します。これにより、専修大学在学中の公認会計士試験合格の可能性を更に高めます。その他、学習が順調に進んでいる成績優秀者には理論科目対策を並行して実施するなどのカリキュラムもご用意しています。専修大学会計士講座の選抜個別コースでは、簿記経験者としての強みを最大限活かせるよう全力でサポートいたします。向上心を持って挑戦できる方のご受講を心よりお待ちしております。

## What is a certified public accountant?



公認会計士の「中身」を知ろう！  
社会のトップで活躍する、会計のプロフェッショナル

### 公認会計士とは

公認会計士(Certified Public Accountant 略称CPA)は、1948年、公認会計士法の制定に伴い誕生しました。企業がビジネスをしていく上で、絶対欠かせない財務書類の監査・証明等を請け負うのが公認会計士の主要な仕事です。とても高度な専門知識とスキルが要求される職業で、社会になくてはならない大切な仕事です。試験合格後、一般的には監査法人、公認会計士事務

所、コンサルティング・ファームなどが就職先として考えられますが、最近ではビジネスの多様化・国際化が進むとともに大きな法改正・制度改正が続き、企業経営に会計的スキルと法令遵守(compliance)が要求される時代となったため、公認会計士が活躍する舞台は経済社会のあらゆる場面に拡大してきました。

### 公認会計士の業務内容

#### ▶ 監査

公認会計士のみ許された資格業務です。企業は決算書類(財務諸表)を作成し、株主や投資家、銀行に対して自社の財務・経営状況を公表しますが、公認会計士は、株主や一般投資家、債権者に代わって利害関係のない第三者として、財務書類に虚偽や不備がないかを厳正な目で確認し、証明します。

#### ▶ コンサルティング

企業の立場に立って、会計や経営戦略の調査・立案・指導を行うのがコンサルティング業務です。近年では会計に関するプロとして公認会計士の助言が求められる場面が急増しています。さらに、会計以外の専門分野にも知識を広げ、その能力を存分に発揮している公認会計士も注目を浴びています。

#### ▶ 税務

公認会計士は登録するだけで税理士の資格も取得できます(税理士法第3条)。税務書類の作成から税務相談など税務面でも幅広い活躍の場がおのずから開けるわけです。近年では海外進出を目指す企業から、各国の税制などへの対処法について助言を求められる機会も多く、「国際税務」への関心が急速に高まっています。

### 公認会計士の試験制度



## Introduction 会計士講座について

### 合格までの専大カリキュラム

専大カリキュラムは、大原学園との提携により、公認会計士試験科目の知識が全くない人でも着実にレベルアップが図れる内容となっています。また、日商簿記検定2級以上の学習経験者には、入学後すぐに公認会計士試験や日商簿記1級の学習を行う「選抜個別コース」を用意していますので、時間を無駄にすることなくハイレベルな学習が可能です。

### 会計士講座の概要

#### ■ 講座の目的

会計関係資格(公認会計士、日商簿記検定等)に興味をもつことにより、公認会計士に向けた勉強へと導き、在学中の公認会計士試験合格を目指します。

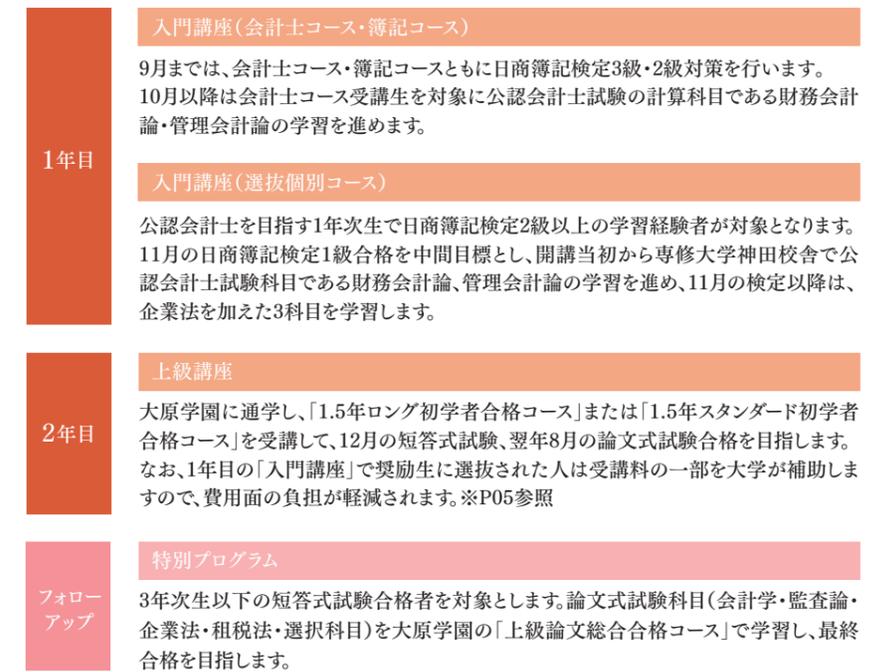
#### ■ 講座の特徴

**POINT 01** 大学の授業を考慮したスケジュール  
1年目は講座の大部分を大学の校舎で実施するため、大学の授業との両立がしやすく、無駄のない学習ができます。

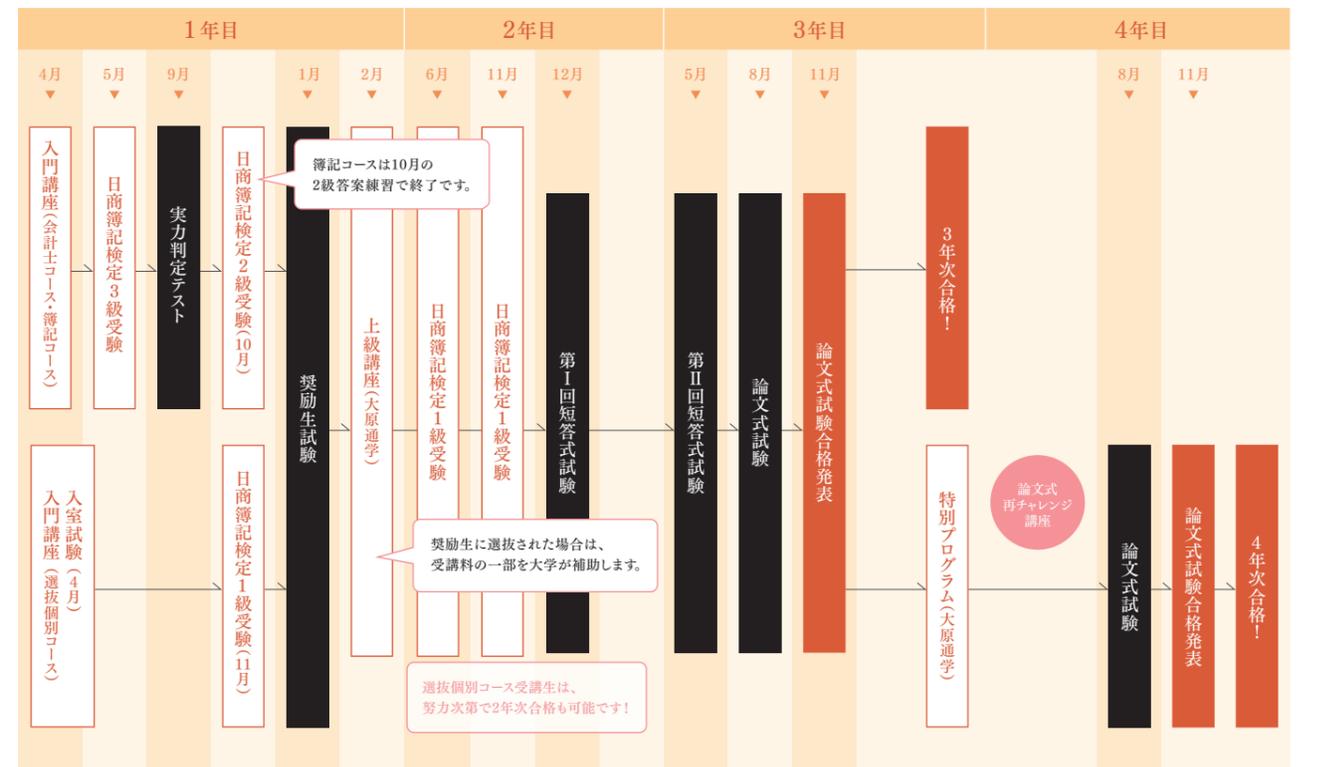
**POINT 02** 簿記学習経験者への対応  
講座開始段階で簿記の学習が進んでいる受講生には、「選抜個別コース※P07参照」を設けています。

**POINT 03** 費用面のサポート  
成績や出席状況が特に優秀な受講生には、「奨励生制度(選抜制)※P05参照」を設けており、費用面でのサポートを行っています。

#### ■ 講座の内容



### Curriculum カリキュラム内容



# 会計士入門講座 (会計士コース・簿記コース)

## Information(予定)

<b>開講場所</b>	<b>開講期間</b>	<b>開講日数</b>	<b>定員</b>	<b>ガイダンス</b>	<b>受講料</b>
神田校舎・生田校舎	4月中旬～翌年2月上旬	週3日程度	各校舎200名	4月上旬	会計士コース:93,000円 簿記コース:69,000円

※簿記コースは日商簿記検定2級合格を目指す講座設定になっています。簿記コース受講生で講座の継続を希望される場合は、会計士コースへのコース変更ができます。(別途追加受講料が必要になります) ※一部オンライン(Web)講義で実施します。 ※曜日・時間はガイダンスにてお知らせします。 ※一旦納入した受講料は、どのような理由があっても返金できません。 ※夏特訓・実力判定テスト・年末計算特訓・奨励生試験は神田校舎での合同実施となります。生田校舎通学者は、神田校舎で受講していただきます。

## 入門講座カリキュラム

公認会計士試験のイントロダクションとなる講座です。簿記検定取得を初期の目標としつつ、週3回程度のペースで講座を進めていきます。会計の初心者者が、着実にステップアップできるよう講義が進行します。通常講義に加え、「夏特訓」、「年末計算特訓」、「個別面談」など常に受講生の学習意欲が維持できるフォロー体制を整えています。なお、成績や出席状況が特に優秀な受講生に対しては、2年目の講座費用の一部を大学が補助する「奨励生制度(選抜制)」を設けています。

### ■ ヤル気を引き出す特別フォロー体制!

**POINT 01** **1年目は学内で実施**  
1年目はほとんどの講義を学内で実施するので、大原学園への移動時間や交通費もかかりません。また、大学の授業を考慮してスケジュールを組んでいるので、授業との両立もできます。

**POINT 02** **日商簿記検定3級・2級の学習からスタート**  
会計の初心者からでも始められるよう、まずは5月に日商簿記検定3級、10月に2級の取得を初期の目標にしているので、安心して学習をスタートできます。

**POINT 03** **公認会計士試験科目を強化**  
10月からは「財務会計セレクト」、「管理会計セレクト」の学習を行い、公認会計士試験の計算科目を強化します。(会計士コースのみ)

**POINT 04** **充実したフォロー体制**  
「夏特訓」、「年末計算特訓」、「個別面談」などのフォローにより、常に受講生の学習意欲が維持できる体制を整えています。



### 奨励生制度

#### 講座の途中で奨励生を選抜!

本講座では、講座を熱心に受講し、成績が特に優秀であり、公認会計士試験合格への熱意をもつ受講生を奨励生として選抜しています。奨励生に選抜されると、2年目の会計士上級講座の受講料(約59万円)の一部を大学が補助しますので、費用面の負担が軽減されます。選抜にあたっては、奨励生試験(筆記試験・面接試験)、簿記検定の成績、日頃の講座出席状況などから判定します。



## Schedule スケジュール(予定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
会計学/財務会計論							財務会計入門II レクチャー (簿記2級・商業簿記)				
		財務会計入門I レクチャー (簿記3級・商業簿記)							財務会計セレクト (会計士・財務会計論)		
会計学/管理会計論							管理会計入門レクチャー (簿記2級・工業簿記)				
									管理会計セレクト (会計士・管理会計論)		
企業法<Web講義>										企業法セレクト (会計士・企業法)	
ガイダンス											

簿記コースは10月の2級答案練習で終了です。

- 個別面談
- 日商簿記検定3級受験
- 夏特訓 (神田校舎で実施)
- 実力判定テスト (神田校舎で実施)
- 日商簿記検定2級受験
- 個別面談
- 合格者座談会
- 年末計算特訓 (神田校舎で実施)
- 奨励生試験 (神田校舎で実施)

専門性を高め、仲間とともに成長する。



会計士入門講座 (会計士コース) 受講生  
経営学部 経営学科  
(宮崎・宮崎学園高校出身)  
溝口 紗椰香さん(1年)

大学生になり、将来に向けて新しく自分の力になることに挑戦したいと考えようになりました。その中で、あらゆる分野で専門性を発揮して活躍できる公認会計士という職業に興味を持つようになり、公認会計士試験に必要なスキルを身につけるために、会計士講座の受講を決めました。講座では、基礎から段階的に学べる環境が整っており、大学生活と両立しながら着実に力をつけられる点に魅力を感じています。講師の方々が質問しやすい雰囲気をつくってくださり、疑問にも丁寧に向き合ってくださるため、安心して学びを深めることができます。また、同じ目標を持つ仲間と一緒に学ぶことで、周りの努力や姿勢から刺激を受けることも多く、自分の学習意欲に良い影響を与えてくれます。今後も、講師の方々の力を借りながら自分のペースで学びを深めつつ、仲間からの刺激を力に変え、目標に向けて頑張っていきたいです。

# 会計士入門講座 (選抜個別コース)

## Information(予定)

**開講場所** 神田校舎及び大原学園東京水道橋校 **開講期間** 4月中旬～翌年2月上旬 **開講日数** 週4日程度 **定員** 40名 **ガイダンス** 4月上旬 **受講料** 93,000円

**開講条件**  
 ①公認会計士を目指す意志があること。②日商簿記検定2級以上の学習経験があること。③1年次生であること。④入室試験に合格すること。以上4点をいずれも満たした者  
 ※「入室試験」不合格者は「会計士入門講座(会計士コース)」を受講していただきます。※一部オンライン(Web)講義で実施します。※曜日・時間はガイダンスにてお知らせします。  
 ※一旦納入した受講料はどのような理由があっても返金できません。

## 選抜個別コースカリキュラム

日商簿記検定2級以上の学習経験がある1年次生を対象とし、確実かつ早期に公認会計士試験合格を目指す講座です。開講当初から、公認会計士試験の計算科目である「財務会計論」、「管理会計論」の学習を週4回程度のペースで進め、学習の理解度を確保するための中間目標として11月の日商簿記検定1級にチャレンジします。簿記検定以降は、「企業法」を加えた3科目を並行して学習していきます。また、学習の進捗状況が特に進んでいると認められた受講生を対象に、「理論科目先行学習制度」を設けています(選抜制)。この制度を利用すれば、通常の講座で学習する計算科目と並行して理論科目の学習に取り組むことで、より早期の公認会計士試験合格が可能となります。

## Schedule スケジュール(予定)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
Web講義 対面講義 ※大原学園東京水道橋校にて対面講義。										
会計学/財務会計論・管理会計論										
レクチャー										
レクチャー										
レクチャー										
日商簿記1級										
検定対策・模擬試験										
企業法										
レクチャー※										
●入室試験	●個別面談	●個別面談	●個別面談	●1級受験						

## 早期合格に向けたムダのない学習!

- POINT 01** **試験により受講生を選抜**  
当講座の受講には、4月に実施する「入室試験」の合格が必須となります。この試験は日商簿記検定2級レベルの問題を出題します。
- POINT 02** **経済的サポート制度**  
会計士入門講座(会計士コース・簿記コース)と同様に、「奨励生制度」を設けています。奨励生に選抜されると、2年目の会計士上級講座の費用負担が軽減されます。
- POINT 03** **日商簿記検定1級取得者への特別カリキュラム**  
大学入学時に日商簿記検定1級をすでに取得している人には、2年次での公認会計士試験合格を目指したカリキュラムを提供します。
- POINT 04** **学習の進捗状況で最短2年次合格可能**  
余力がある人には、通常の講義に加えて理論科目(財務会計論理論、監査論、企業法)対策も並行して行います。これにより、最短で2年次での合格が可能になります。  
※理論科目対策は、別途追加受講料が必要になります。詳しくはガイダンスでお知らせします。

## 仲間と切磋琢磨できる環境が魅力

会計士入門講座  
(選抜個別コース)受講生  
商学部 会計学科  
(群馬・前橋商業高校出身)  
後藤 柁平さん  
(1年)



私は高校時代に日商簿記2級を取得し、大学で会計の知識を深く学びたいと思っていた中で、専修大学には会計士講座があることを知り、講座を受講しました。講座受講料が大幅に抑えられる奨励生制度や、在学中の公認会計士試験合格者に奨学金が支給されるなど様々な手厚い支援制度が、公認会計士を目指すきっかけにもなりました。私が受講している選抜個別コースは、入学後すぐに日商簿記1級相当の範囲を学習し、1年次で日商簿記1級合格も目指すことのできる環境です。講義の大半はオンデマンド型で、対面講義は週に1、2回実施されるため、自分のペースで勉強することができます。さらに、月に1回程度で授業内演習があり、自分自身の習熟度がわかることも会計士講座の魅力です。現在は在学中に短答式試験、論文式試験の合格を目指し勉強を進めています。卒業後はBIG4と呼ばれる4大監査法人に就職することが目標です。選抜個別コースは日商簿記2級以上の知識を持っている人が集まる、かなりハイレベルな環境ですが、切磋琢磨しながらわからないところを教えあったりすることができる所がこのコースの一番の魅力です。皆さんも会計士講座を受講して公認会計士を目指してみたいか、いかがでしょうか。



# 会計士上級講座

## Information(予定)

**開講場所** 大原学園各校舎 **開講期間** 2月上旬～翌年8月中旬

**受講料** <20名程度が奨励生として選ばれます>

上級:592,000円 上級(奨励生):99,000円 [参考:大原一般価格 770,000円]

※奨励生制度についてはP05を参照ください。※奨励生の通学校舎は、大原学園東京水道橋校に限定します。また、受講コースは「1.5年ロング初学者合格コース」に限定します。※生田校舎の上級講座受講生(奨励生含む)が大原学園に通う場合、通学定期券を購入するための通学証明書は発行できません。※一旦納入した受講料はどのような理由があっても返金できません。※2年目以降の受講料は変更となる場合があります。

**合格者への経済サポート!**  
 在学中の短答式試験及び論文式試験合格者は、指定試験奨励生の対象となります。(審査を経て短答式合格者には100,000円、論文式合格者には300,000円が支給されます。【2025年度実績】)

## 会計士上級講座カリキュラム

大原学園に通学し、「1.5年ロング初学者合格コース」または「1.5年スタンダード初学者合格コース」を受講して、12月の短答式試験、翌年8月の論文式試験合格を目指します。なお、1年目の「会計士入門講座」で奨励生に選抜された受講生は受講料の一部を大学が補助しますので、費用面の負担が軽減されます。また、公認会計士試験は日商簿記検定1級と試験範囲が重なるため、受講期間中に簿記1級を取得することも可能です。

## 大原学園の充実したカリキュラムを受講!

- POINT 01** 3年次での公認会計士試験合格を目指します。  
※選抜個別コース受講生は、努力次第で2年次合格も可能です。
- POINT 02** 奨励生は、費用負担が軽減されます。
- POINT 03** 受講期間中に日商簿記検定1級を取得することも可能です。

## フォローアップ Extra program ハイレベルな環境で合格へラストサポート!

# 会計士特別プログラム

## Information(予定)

**開講場所** 大原学園東京水道橋校 **開講期間** 11月下旬～翌年8月中旬 **定員** 若干名 **受講料** 93,000円 **受講条件** 3年次生以下の短答式試験合格者  
 ※一旦納入した受講料はどのような理由があっても返金できません。※受講料は変更となる場合があります。

## 会計士特別プログラムカリキュラム

在学中に論文式試験に合格するために必要な実力を養成する講座です。短答式試験に合格している3年次生以下を対象とし、大原学園東京水道橋校の「上級論文総合合格コース」で論文式試験に出題される科目を学習し、翌年8月の論文式試験合格を目指します。

## 論文式試験に向けて徹底的にサポート!

- POINT 01** 短答式試験に合格している3年次生以下を対象とし、在学中の論文式試験(公認会計士試験最終試験)合格を目指します。
- POINT 02** 論文式試験(会計学、監査論、企業法、租税法、選択科目)の学習を大原学園東京水道橋校で行います。

■ 公認会計士試験に挑戦する後輩たちへ

会計士入門講座を受講したきっかけ、また公認会計士を目指そうと思ったきっかけを教えてください。

**中島** 私は高校まで野球に打ち込んできましたが、大学進学を機に野球以外のことに挑戦してみたいと考えようになりました。将来を考えたとき、何か強みになる資格を取得しておくのがよいのではないかと思います、大学の講座案内で公認会計士という職業を知り、目指すようになりました。

**小川** 大学に会計士講座があることは知っていた、まずは受けてみよう、という気持ちでガイダンスに参加しました。ガイダンスに参加して、大学の支援を受けながら公認会計士を目指すことを知り、公認会計士の収入面や安定性、会社の経営者等と仕事ができる点に魅力を感じて目指そうと思いました。



仕事の魅力やモチベーション、働いて感じたことについて教えてください。

**小川** 一番のモチベーションは報酬です。努力や専門性が正当に評価され、得た収入を自分のやりたいことに使えるのは大きな魅力だと思います。

また、この仕事をやっていてよかったと感じるのは、会計の専門知識を使って企業を支援できたときに大きなやりがいを感じます。

**矢作** 年次が上がるにつれて、監査全体をスムーズに進める役割も増えてきます。論点を早めに整理し、クライアント(顧客)やチーム、パートナー(上司)と調整しながら、無事に監査報告書を発行できたときは、「今年もやり切った」という達成感があります。

モチベーションという点では、クライアントによっては全国各地へ出張に行く機会があり、現地の美味しいご飯を食べる、というのも楽しみの一つです。

**石岡** 監査法人の事務所は広くて綺麗なところが多く、眺めも良く、整ったオフィススペースで働ける点は、大きな魅力の一つだと思います。一方で、実際に仕事を始めてみて感じたギャップとしては、Excelをはじめとするパソコン作業が想像以上に多いことでした。業務の多くはExcelを使って進めるため、合格後にスムーズに仕事を始めるためにも、事前にExcelの基礎を身につけておくことをおすすめします。

2年目からは会計士上級講座で大原学園での学習に移行しますが、大原学園に通ってどのような変化がありましたか。

**中島** 生田校舎から大原学園東京水道橋校までの通学時間は1時間ほどかかりますが、移動時間はテキストの読み込みなど理論科目の学習に充て、時間を有効に使うことができました。また、大原学園では専修大学生以外の方々と一緒に学ぶので、良い刺激を受けられる環境だと思います。

**小川** 一番大きく変わったところは、質問ブースをいつでも利用できる点です。疑問点はすぐに講師に質問し、解消できるのは非常に大きなメリットでした。



現在、会計士入門講座を受講している学生へ一言お願いします。

**野口** 今は計算力をしっかり固めることが一番大切だと思います。計算力が身につけば、短答式試験も論文式試験も大きな武器になります。

**中島** 会計士試験はこれから長丁場になります。だからこそ、毎日コツコツ続けることが一番大事です。継続することを大切にして頑張ってください。

**小川** この試験は、やり切れば誰でも合格できる試験だと思います。しっかり勉強時間を確保することを意識して、ぜひ最後まで取り組んでください。

**石岡** 試験勉強は正直つらいこともありますが、今では資格を取って本当によかったと心から感じています。気持ちが折れそうときは、同じ講座で学ぶ仲間と励まし合いながら頑張ってください。

**矢作** 会計士試験は、やり方さえ間違えなければ誰でも合格できる試験です。もし成績が伸び悩んでいたら、勉強方法を見直すことも大切です。一人で抱え込まず、ぜひ講師に相談してください。合格後には明るい未来が待っています。



勉強のモチベーションとはどのように向き合っていましたか。

**野口** 試験勉強を続けていると、思うように点数が伸びず、モチベーションが下がってしまうこともあります。そんなときこそ、一人で抱え込まず、友人と気持ちや悩みを共有することが大切です。誰かと話すことで気持ちが軽くなり、新たな気づきや前向きな気持ちを取り戻し、勉強へのモチベーションを維持することができました。

**矢作** 私は将来の目標が明確だったので、モチベーションに左右されないよう、勉強を仕組み化していました。試験日から逆算して月・週・日単位で計画を立て、無理のないスケジュールに落とし込むことを意識しました。この習慣を続けることで、気分に関係なく勉強に取り組めるようになりました。



左から矢作匠さん(2019年合格・商学部会計学科卒業・監査法人勤務)、石岡里果さん(2020年合格・経営学部経営学科卒業・監査法人勤務)、小川尚輝さん(2021年合格・商学部マーケティング学科卒業・監査法人勤務)、中島京介さん(2025年合格・経営学部経営学科3年次在学中)、野口凜生さん(2025年合格・経済学部生活環境経済学科4年次在学中)



初学者でも安心して学べる環境

経営学部 経営学科3年 (静岡・藤枝明誠高校出身)

中島 京介さん

私は高校まで野球を続けてきましたが、野球は高校で区切りをつけ、大学進学を機に新しいことへ挑戦してみようと考えていました。入学当初は明確な目標がなかったため、将来につながる資格取得を検討していたところ、専修大学の会計士講座を知りました。公認会計士は多様なキャリアパスを歩

むことができ、自分の将来の選択肢を大きく広げられる点に魅力を感じ、挑戦を決意しました。正直に言えば、私は高校・大学ともに推薦で進学したため、本格的に勉強へ取り組んだ経験が少なく、簿記も初学者であったため不安がありました。しかし、会計士講座は基礎から丁寧に学ぶため、初学者でも安心して学べる環境が整っています。また、受講料の一部を大学が補助する奨励生制度や、公認会計士試験在学中合格後に支給される奨学金など、費用面でのサポートが非常に手厚いことも魅力の一つです。何かに本気で取り組む経験は、必ず将来の糧になります。公認会計士試験に合格することは楽な道のりではありませんが、挑戦してみることはそれ以上に大きな価値があります。ぜひ専修大学で、新たな一歩を踏み出してみてください。



充実したサポート体制

経済学部 生活環境経済学科4年 (千葉・中央学院高校出身)

野口 凜生さん

私は専修大学の会計士講座のパフレットをきっかけに公認会計士を目指すようになりました。高校までは、ずっとサッカーをしてお受験勉強とは無縁だったため、公認会計士という難関資格を取得することができるのかという不安がありました。しかし、専修大学の会計士入門講座では簿記を基礎からわかりやすく教えてくださったため、簿記とは

全く無縁であった私でも勉強を継続することができました。私自身、会計士講座の講師の方々には、普段の学習方法から試験全体の学習計画まで親身になってサポートしていただきました。このことが専修大学生の合格実績の高さの要因の1つになっているのだと思っています。また、専修大学では、2年目以降の講座受講料の大部分を大学が補助する「奨励生制度」や短答式試験に合格している3年次生を対象とした「会計士特別プログラム」、さらには、公認会計士試験の合格者に対する奨学金の支給制度など、費用の面で手厚いサポートがあり、公認会計士試験に合格するための環境が非常に整っていると思います。公認会計士試験は難しい試験ですが、正しい努力を継続すれば、大学に入学してから簿記の勉強を始める人でも十分に合格することのできる試験です。皆様もぜひ専修大学で公認会計士を目指してみてください。



専修大学公認会計士試験合格者実績

2025年度	18名 (9名)
2024年度	12名 (5名)
2023年度	29名 (11名)
2022年度	21名 (11名)
2021年度	17名 (9名)

※掲載の数字はエクステンションセンター調べです。※( )内の人数は在学生合格者数です。